

BACKUP DEVICE PACK CAMPAIGN

日立アドバンストサーバ HA8000series バックアップデバイスパック キャンペーン 実施中

各種デバイスにテープメディアと各種ソフトウェアを
パックしたセット価格キャンペーンを実施中！



CA®ARCserve®Backup r12
for Windows



Disaster
Recovery
Option



Agent for
Open Files

JP1/VERITAS Backup Exec 12
for Windows Servers



※パッケージ写真はイメージのため
実際に納入されるものとは異なります。



Intelligent
Disaster
Recovery
オプション



Advanced
Open File
オプション

ソフトが
新しくなりました!!

次頁から詳しく
ご紹介しています。



買ったその日から、すぐに使えます！

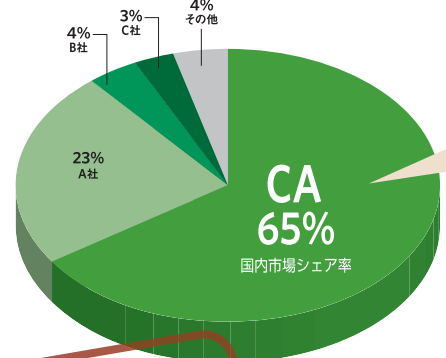
CA ARCserve Backup r12

ビジネスを止めないための 4つのポイント

企業においてデータは会社を支える極めて重要な資産です。そのため、データ損失といった万が一が許されず、高い信頼性を持つバックアップ体制が求められています。CA ARCserve Backup は、常に変化を続ける経営環境に合わせて、IT システム、ビジネス資産を柔軟かつ効率的に保護し、セキュアで最適なバックアップ / リカバリ体制の構築をサポートします。



日本で最も使用されているバックアップ / リカバリソリューション



選ばれる理由は……?

- 1 抜群のパフォーマンス**
 - プロセスの自動化と最適化
 - D2D2Tをはじめ実績ある高速バックアップ
 - インテリジェントな高速リストア
- 2 高い信頼性**
 - 国内シェア No.1
 - 24時間 365日稼働と惨事復旧
 - コンプライアンス対応
- 3 高度なセキュリティ**
 - FIPS 認定 AES256ビット暗号化
 - CA Anti-Virus エンジン標準搭載
 - 内部統制を支えるアクセス制御
- 4 運用管理負荷の軽減**
 - 直感的な操作性を持つ統合管理ユーザインターフェイス
 - 規模に合わせたコストパフォーマンスの高いシステム構成
 - SAN や NAS、仮想環境への柔軟な対応

No.1 バックアップ / リカバリソリューション
CA ARCserve Backup

出典: (株)ミック経済研究所「UNIX、Windows対応、ミドルウェアパッケージソフトの市場展望」(2006年度版)



新時代のデータ保護を支える CA ARCserve Backup

CA ARCserve Backup は、D2D2Tをはじめとした実績ある多彩なバックアップ機能、インテリジェントな高速リストア機能を備え、変化を続けるビジネスシーンで生み出されるさまざまなデータを保護する、新時代のバックアップ / リカバリソリューションです。多様化するさまざまなセキュリティの脅威からデータを保護するとともに、直感的な操作が可能な統合型ユーザインターフェイスや初心者にもわかりやすいチュートリアルを備えることで、肥大化を続けるシステム運用管理の負荷を軽減します。

新機能

CA ARCserve Backup r12 では、あらゆるデータをあらゆるタイミングで効率的に保護できる各種機能が新たに加わりました。

- 一元化された管理コンソール** 管理者は、ローカルまたはリモートサーバ、リモートオフィスなどから、バックアップ / リストア、デバイス、アクティビティログ、アラート、データベース、製品ライセンス、レポートを管理 / 変更 / 制御できます。
- 拡張データベース管理** Microsoft SQL Server 2005 Express Edition が同梱され、バックアップ / リストアの情報などを管理するためのデータベースとして利用できます。
- セキュリティ機能、惨事復旧機能の向上** バックアップデータの暗号化アルゴリズムとして FIPS 認定の AES256 ビットに強化されました。惨事復旧を実行する前にデバイスドライバの組み込みや環境設定が容易になりました。
- 仮想化対応の拡張** VMware 向けの新しいエージェントが加わりました。仮想マシンのイメージレベルバックアップが可能です。
- オプション / エージェント製品の統合** オプション製品、エージェント製品の一部が統合され、お求めやすくなりました。
- 新たなプラットフォーム / アプリケーションへの対応** CA ARCserve Backup r12 では、Microsoft Windows Server 2008、Oracle Database 11g、Lotus Domino 8 などに対応し、進化・拡張を続けるシステム環境にも強固なバックアップ機能を提供します。
- 簡略化されたデバイス管理、プロアクティブな管理** 新しいテープライブラリ自動構成機能によって、テープサービスを停止せずにライブラリ設定を変更できます。また、作成したバックアップジョブに問題が無いか、システム、アカウント、エージェント、メディアについてそれぞれ事前に確認のレポートを出すことができます。

CA ARCserve Backup r12 for Windows

CA ARCserve Backup は、ベース製品だけで D2D (Disk to Disk) や D2T (Disk to Tape) といった基本はもちろん、D2D2T やマルチプレキシングなど高機能なバックアップ / リストアを実現します。さらに、ウイルスチェックやデータの暗号化が行えるため、セキュリティ対策もこれ 1 本で行えます。



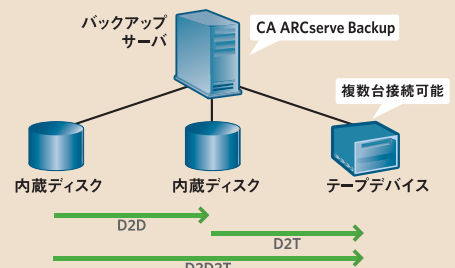
簡単インストールと直感的でわかりやすい操作性

CA ARCserve Backup は、インストールが容易に行えるウィザードを備えており、画面の指示に従うだけで導入することが可能です。また直感的でわかりやすい操作性を持ち、一元化された統合ユーザインターフェイスを備えているため、情報システム部門担当者の負担を軽減するとともに、効率的な運用を実現します。さらに初心者にも安心して利用できるステップバイステップでバックアップ / リストアが可能なチュートリアルが付属するため、習得時間の短縮化が図れます。



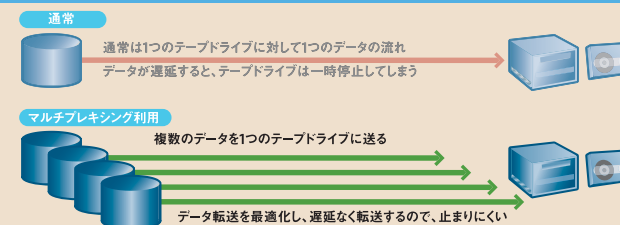
多様なバックアップ方法

ディスクからディスクへの基本的なバックアップ (D2D: Disk to Disk) はディスクの空き容量がある限り、ディスク容量のバックアップをすることができます。(しきい値制限も可能です)。またディスクからテープへのバックアップ (D2T: Disk to Tape) においてもスタンドアロンのテープドライブは何台でも増設可能です。さらにディスクからディスク (または仮想テープ)、そしてテープへとバックアップする D2D2T (Disk to Disk to Tape) 機能を備え、ディスクの持つパフォーマンスとテープの持つ耐久性を兼ね備えたバックアップが可能です。



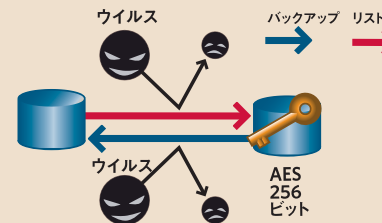
高速バックアップ

複数ソースを 1 台のテープドライブに同時にバックアップし、テープドライブの持つ性能を最大限に引き出す「マルチプレキシング機能」を標準で備えています。



暗号化 / ウイルスフリー

FIPS (米国連邦標準規格) 認定の AES 256 ビット暗号化を採用しています。また、バックアップ / リストア時に不正なウイルスデータが混入することを防ぎます。



スマートリストア / リストアの最適化

リストア時にハードウェアの障害が発生しても (1)、他のメディアからデータを自動的に探し出し、中断なくリストアを継続できるようにします (2)。また、参照先としてテープよりディスクを自動的に優先するため、作業を高速化できます。



データベースの拡張

CA ARCserve Backup r12 では、Microsoft SQL Express を標準搭載し、より拡張性の高い管理データベースを提供します。またカタログインデックスもサポートしているため、バックアップの詳細情報が保存されているカタログファイルを、データベースにロード / マージする必要がなくなり、データベースのサイズが縮小され、操作性も向上します。